



はらだ  
原田てつよ議員

## 本市の障害者施策の現状を問う



**議員** 障害のある人が地域で、安全・安心に暮らす基本は理解と支援だと思う。取組みをたずねる。

- ①職員対応要領の策定は
- ②市民・事業所への周知啓発は
- ③支援地域協議会の設置は

**市長** ①素案を作成しており、内容の精査後、策定の手続きを進める②リーフレットを作成し、施設への設置、関係事業者への配布、福祉関係のイベントで配布を行っている③候補者を再検討中であり、設置が遅れている。早期に設置できるよう努める。

**議員** 市内福祉事業所が行っている障害者の居宅介護事業と福祉有償運送が30年度末で休止と聞く。行政としての考えをたずねる。

**市長** 事業の廃止や休止以降も利用者が同等のサービスが受けられるよう県と連携し、事業者の動向を確認し、事業を継続する上で見直しが必要な項目は、国・県に要望していくと共に、各団体と協議できるよう努める。

**議員** 岡山県学童保育連絡協議会と備中県民局の協働事業として、学童保育と作業療法士と連携し、支援を必要とする児童への支援を試み、成果を上げている。当事業への考えをたずねる。

**こども部長** 当事業は、クラブ運営にとつて有意義であったと聞いている。説明会に参加し、情報収集に努めたい。共働きが一般的になつている現在、安心して子育てできる環境を整えていきたい。



おおやまもりひさ  
大山盛久議員

## 橋梁の点検状況をたずねる

**議員** 現在の点検を要する橋梁の数と実施状況をたずねる。

**市長** 市が管理している橋梁は全体で770橋あり、平成26年度から29年度末までの4年間で、全体の約80%に当たる621橋の点検を行った。今年度、残りの149橋を点検し、平成30年度末で点検の1巡目が完了することになる。来年度以降は、2巡目の点検に入る。点検は、コンクリート部分を点検ハンマーで確認するなど、橋梁の状態を近接目視で確認を行っている。

**議員** 茅原基治船長の功績を市内外に広く紹介し、もっと知ってもらうため、市としては今後どのよ

ロシアの子供800人を救った「陽明丸」船長、茅原基治の顕彰を

うな方針で行くのかたずねる。

**市長** 茅原船長の功績は、本市にとつて誇りであり、全国に誇れるかけがえのない宝として、地元の皆様活動を後押しするとともに、関係団体の皆様と市及び教育委員会との連携を図っていく。

**議員** 市内の子供たちにも知ってもらうため、資料が多く集まれば図書館に茅原基治船長のコーナーをつくったらどうか。

**教育長** 今年度、市立図書館において、茅原船長を顕彰する場を設けたいと考えている。ただ、現状では展示するような資料が集まつておらず、まずはパネルを作成して功績を掲示することで、皆様にお知らせしたい。

